

2014 年度 日本農業経済学会 理事会 議事録

開催日時：2015 年 3 月 27 日（金） 18:00～19:45

会 場：東京農工大学農学部 第1 講義棟 21 号室

出席者（敬称略）：生源寺（会長）、福井（副会長）、玉（副会長）、米倉（副会長）、中嶋（副会長）、北川（財務）、松下（財務）、清水（和文誌編集）、伊東（英文誌編集）、福与（学会賞・国内学術交流）、不破（国際交流）、能美（企画）、梅津（情報）、櫻井（庶務）、野見山（開催校代表）、森田（東北）、木南（北陸）、荒井（中部）、三田村（近畿）、保永（中国）、中道（四国）、矢部（九州）、尾崎、近藤、志賀、中村、大栗、鬼木、菊地、北原、作山、高柳、松久、吉田央、吉田義明、小林、金子、豊、草苺（編集担当オブザーバー）、神代（次期庶務担当理事）、農林統計協会・武石（事務局）

欠席者：岡田（北海道）、内山、桂、黒木（いずれも議長への委任状あり）

1. 開会にあたり、生源寺会長より簡単な挨拶があった。また理事会に過半数の理事が出席していることから、理事会は成立していること、今後の進行は生源寺会長にお願いすることを確認した。

2. 理事会での報告ならびに審議事項

(1) 企画委員会報告

- 中嶋副会長（企画担当）より、2015 年度大会の準備状況が報告された。

(2) 編集委員会報告

- 福井副会長（学会誌担当）、清水理事（和文誌担当）、伊東理事（英文誌担当）より、学会誌編集に関する以下の事項について報告があった。
 - ・「日本農業経済学会論文集」を廃止し、今後、報告論文は和文誌または英文誌に掲載する。
 - ・論文集投稿規程を廃止するとともに、関連する投稿規程を改正する。
 - ・和文誌・英文誌の編集委員長の選出方法を変更する。編集委員会が候補者を推薦し、会長指名理事として編集業務にあたる。任期は2年。学会誌担当副会長の任期と1年ずらして改選する。
 - ・論文と報告論文の違いを明確化するため、編集委員会規程と投稿規程の見直しを行った。
 - ・和文誌の刊行スケジュールを変更し、6月号を大会特集号とする。
 - ・報告論文の査読手続きを早め、10月末の受理書発行を目指す。
 - ・和文誌・英文誌それぞれの論文査読および掲載状況が報告された。
 - ・編集委員の一部交代について報告があった。

- 改正予定の編集委員会規程，和文誌および英文誌の投稿規程の内容が紹介された。ケアレスミスを修正することとし，内容については提案どおり承認された。
- 理事会（翌日の総会）資料の一部にもケアレスミスが見つかり，総会では訂正のうえ報告することとなった。

（3）情報化委員会報告

- 情報担当・梅津理事より，J-STAGE への会誌掲載状況について報告があった。
- 科研費（研究公開促進費）を活用し，和文誌6巻分がJ-STAGEに掲載された。
- JJRE と論文集（英文箇所）の一本化により，英文誌のJ-STAGE 利用申請が可能となり，3月に申請が許可された。
- 個人情報保護の観点から，会員名簿は当面配付しないこととした。

（4）国際交流委員会報告

- 米倉副会長（国際交流担当）より，国際交流関連の取り組み状況が報告された。
- 2015年度大会にて開催する日韓シンポジウムの準備状況が報告された。
- 2014年10月にバングラデシュにてアジア農業経済学会（ASAE）が開催されたことが報告された。あわせて，今後学会としてASAE への支援を強化することを確認した。
- 2015年8月開催予定の国際農業経済学会（ICAE）にて報告予定の若手研究者を対象にしたJB賞（参加費助成事業）の公募を早急に行う予定であることが報告された。

（5）学会賞・国内学術交流担当報告

- 玉副会長（国内学術交流担当）より，本年度の農業経済学関連学会協議会の開催状況について報告があった。今年度は9月に編集担当者による会議も開催したことが報告された。
- 学会賞選考委員の選出方法を実態に合わせるための学会賞表彰規程改正案が説明され，原案どおり承認された。

（6）財務担当報告

- 財務担当・北川理事より，業務の継承性を確保するために2014年度は財務担当常務理事を2名としたことが報告された。
- あわせて，特別会計（Ⅰ・Ⅱ）に関する細則，大会開催要領，旅費に関するルールの整備を行ったことが報告された。

（7）庶務担当報告

- 庶務担当・櫻井理事より，2014年度の会議開催状況と会員数動向が報告された。
- 会務の増加に対応するため，2015年度より庶務堪能常務理事を1名増員する。選出母体である関東地区理事会（1月11日開催）でも了承を得たこと，さらに庶務理事増員に必要な会則，役員選出に関する細則，役員業務等に関する細則の改正を理事会および総会に諮ることが説明された。
- 役員業務等に関する細則について，実態にそぐわない箇所を中心に見直しを行い，近

日中に学会 HP にアップされることが報告された。

- 上記の2細則について、改正箇所の説明があり、原案どおり承認された。

(8) その他

①英文誌・英語投稿の強化について

- 中嶋副会長（改革担当：兼任）より、前期役員体制にて発足したる英文誌国際化委員会での検討経過が報告された。アジア農業経済学会など海外の学会との会誌共同発行を検討したが、当面は実現が難しいとの説明があった。
- 新たに国際化委員会を設け、会員の英語による投稿を支援する活動等を行うことになった。まず2016年度大会にて、若手会員の英語による投稿を支援するための特別セッションを開催する。

②名誉会員の推薦について

- 生源寺会長より、会則に基づき、岩元泉会員と加賀爪優会員を名誉会員として推薦するとの提案があり、承認された。

③2016年度大会の開催について

- 生源寺会長より、2016年度大会は秋田県立大学が開催校となることが報告された。
- 開催予定日は2016年3月29日（火）・30日（水）である。詳細は確定次第会誌・HP等で案内する。
- 理事会・総会資料に記載されていた開催予定日が変更になったため、総会でのアナウンスを徹底することを確認した。

3. 総会でも審議を要する事項の審議

(1) 2014年度決算（案）

(2) 2014年度決算の監査報告

- 財務担当・北川理事より、資料に基づき、2014年度決算案について説明があった。
- 会計監査が3月6日に実施され、千年・木島両監事より、会計処理は適正であるとの監査報告があったことも報告された。
- 同案は承認され、総会に諮ることとなった。

(3) 会則の改正

- 庶務担当・櫻井理事より、会則改正案の説明があった。今回の改正の要点は以下の5点である。
 - ・入退会に関する規定の厳密化
 - ・理事定数を役員選出に関する細則で定める旨明記
 - ・編集および庶務担当常務理事の選出方法変更にあわせ、常務理事および会長指名理事に関する規定を再整理
 - ・会長指名理事の任期を明記
 - ・常務理事会の役割と議決要件を明文化

- 原案どおり承認され、総会に諮ることとなった。
- (4) 2015年度予算(案)
- 財務担当の北川理事より、資料に基づき、2015年度予算案について説明があった。
- 原案どおり承認され、総会に諮ることとなった。
- (5) 理事・監事の選任
- 生源寺会長、庶務担当・櫻井理事より、2015年度より以下のとおり理事・監事が追加または交代する(一部は交代済)ことが報告された(以下、敬省略)。
 - ・中国地区担当常務理事：保永展利(2014年10月交代済)
 - ・庶務担当常務理事：神代英昭(追加)
 - ・和文誌編集担当常務理事：立川雅司
 - ・英文誌編集担当常務理事：櫻井武司
 - ・開催校選出常務理事：鶴川洋樹
 - ・中部地区選出理事：松井隆宏
 - ・監査：木島実(任期1年延長)・北川太一
- 原案どおり承認され、総会に諮ることとなった。

4. 学会賞について

(1) 学術賞・奨励賞

- 玉副会長(学会賞担当)より、学術賞並びに奨励賞の選考経過について説明があった。
- 伊藤淳史会員の著作『日本農民政策史論 一開拓・移民・教育訓練一』(京都大学学術出版会)が選考委員会にて学術賞として選ばれたことが報告され、理事会でも承認された。なお、奨励賞については該当作がなかった。

(2) 学会誌賞

- 福井副会長(学会誌担当)より、学会誌賞の選考経過について説明があった。
- 有本寛・中嶋晋作両会員および富田康治氏による論文「区画の交換による農地の団地化は可能か? —シミュレーションによるアプローチ—」(「農業経済研究」86巻3号)が学会誌賞として選ばれたことが報告され、理事会でも承認された。